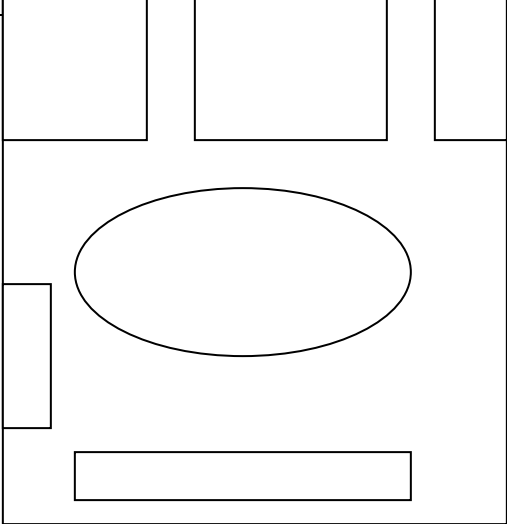
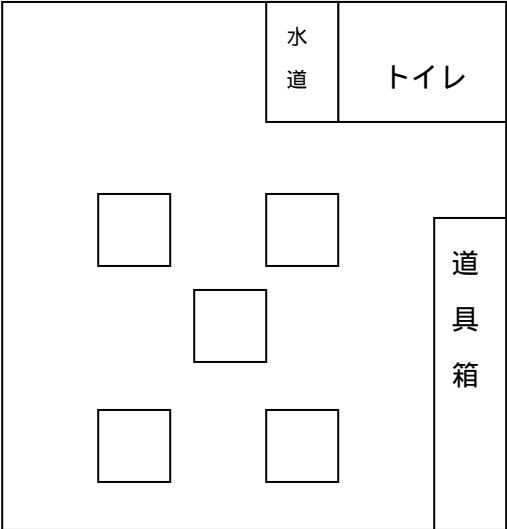


日 案

会津若葉幼稚園
平成19年9月1日(土)

時刻	予想される活動	環境を構成する要点	保育者の援助
さくら組 5 歳児 25名(男児11名 女児14名)		担任 坂下 美和	ねらい 自分の思いを伝えたり、友達と相談し相手の気持ちを受け入れながら、一緒に活動を進めていく。 予想を立てたり、結果について話し合い、自分なりの考えを持って炭作り楽しみ、身近なものとして感じる。
8:30	登園する。 好きな遊びをする。 【戸外】 ・リレーごっこ ・縄跳び ・固定遊具 ・砂遊び 【室内】 雨天の場合 ・積木 ・ままごと ・絵を描く ・作って遊ぶ(空き箱や広告紙、折り紙などを使って) <u>炭焼きの煙の様子を見る。</u>		
9:20	保育室に戻り手洗い、うがいをする。	・炭焼きのコンロで怪我や火傷をしないよう周りを囲って注意する。	出来上がった炭を見て感じたこと、実際手に触れてみて気が付いたことを自由に話し合い、 友達の意見や考えにも耳や心を傾ける時間を大事にする。
9:30	<u>グループ毎に炭になる、ならないの予想を振り返る。</u>		話し合いの姿を見守り、必要に応じて橋渡しをしたり、ヒントを与えたり、面白い発想を認めたりする。 友達の思いを受け入れられるような態度も知らせていく。
9:50	<u>炭の缶を開けてみる。</u> <u>グループで話し合う。</u> ・炭に触れたり、匂いをかいだりしてみる。 ・予想と同じだったか、違ったか。 ・感じたこと、気が付いたことを伝え合い、発表する。	水道 トイレ 道具箱	子ども達から 湧いてきた疑問で試したり、探れることはできるように 配慮する。 スチール缶で焼いた炭、木炭庵で焼いた炭、若葉の森で焼いた炭を比べ、何が違うか、何で違うのか投げ掛け、 若葉の森の倒木の利用法などを考え、大好きな森を守る気持ちがまた一つ大きくなる機会となるように する。
10:50	片付けをする。	<準備物> ・前日に焼いた炭 ・新聞紙 ・木炭庵の炭 ・若葉の森の窯で焼いた炭 ・ナイフ(炭を切る) ・炭焼きをする前の写真	今日の出発事を振り、いろいろ出た気づきを他のクラスの友達に報告し合うなど次の活動を楽しみにできるようにする。
11:00	降園準備をする。 ・今日の活動を振り返る。		
11:20	降園する。		